

鳥獣被害防止総合対策交付金

令和8年度予算額 9,900百万円（前年度 9,900百万円）
〔令和7年度補正予算額 6,800百万円〕

<対策のポイント>

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与えるシカ・イノシシ・クマ等による鳥獣被害の防止のため、**広域的で効果的・効率的な鳥獣被害対策やジビエ利用拡大への取組等**を支援します。

<事業目標>

- 野生鳥獣による農作物被害の総産出額に対する割合（0.24%（被害額：140億円）〔令和11年度まで〕）
- 捕獲鳥獣のジビエ利用量（4,000t〔令和11年度まで〕）

<事業の内容>

- 鳥獣被害防止総合支援事業
シカやイノシシ、サル、クマ、鳥類等への対応など「被害防止計画」に基づく**地域ぐるみの取組**や人材育成、**侵入防止柵の省力的な管理、ジビエ利用拡大等**を支援します。
- 鳥獣被害防止都道府県活動支援事業、都道府県広域捕獲活動支援事業
都道府県が主導して行う鳥獣被害防止対策、広域捕獲に係る取組等を支援します。
- 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業
被害を及ぼす野生鳥獣の捕獲活動に係る取組を支援します。
- 鳥獣被害対策基盤支援事業、全国ジビエプロモーション事業
被害対策推進のための人材育成、ジビエ利用推進のためのハンターや処理加工施設向けの研修、ペットフードへの利用促進、消費拡大に向けた情報発信等を支援します。
- シカ・クマ特別対策等事業
シカの集中捕獲や、**クマの捕獲対策**等を体制整備と併せて支援します。
- スマート捕獲等普及加速化事業
スマート鳥獣害対策と農地周辺での加害性の高い個体の重点的な捕獲対策等を行うモデル地区の**整備・横展開**を支援します。

<事業イメージ>

〔総合的な鳥獣対策・ジビエ利用推進への支援〕



〔鳥獣対策の取組〕

- スマート捕獲等の普及の加速化**
ICT等を活用した、被害情報等を踏まえた農地周辺の加害性の高い個体の重点的な捕獲を支援
センサーカメラ

重点捕獲
- 侵入防止柵の省力的な管理の推進**
見回り負担の軽減等、省力的な維持管理に資するICT機器や資材等の導入を支援
電気柵
監視システム

防草効果のある通電性向上舗装

〔ジビエ利用推進の取組〕

- 捕獲から消費まで各段階の取組を推進**
ジビエ利用の拡大に向け、ジビエ施設への搬入から消費の各段階での取組を推進
（捕獲段階）（処理・加工段階）（流通・消費段階）

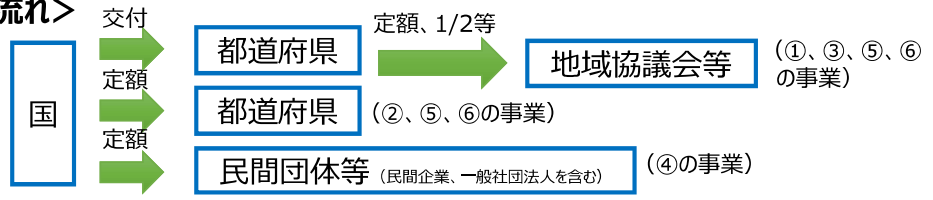
ジビエハンターの研修の実施、処理加工施設の整備、未利用部位のペットフード利用、観光等新たな需要喚起
- 国産ジビエ認証の取得推進**
全国での国産ジビエ認証の取得に向けた取組を推進

全国の処理加工施設を認証、認証制度の普及・定着化

〔クマ対策の取組〕

クマの被害対策に係る総合的な取組を支援

<事業の流れ>



〔お問い合わせ先〕 農村振興局鳥獣対策・農村環境課（03-3591-4958）

鳥獣の侵入を防ぐために柵を整備したい！

獣種に応じた侵入防止柵を選択するとともに、設置場所の地形（傾斜及び高低）を踏まえ、柵のつなぎ目や地面との間に隙間が発生しないようにすることが重要です。また、個々のほ場を囲うのではなく、広域的に囲うなど効率的・効果的な整備の実施に加え、設置後は、生息環境管理の実施を含めた地域ぐるみでの維持・管理を続けることも重要です。

(1) 支援内容

侵入防止柵の整備は「新規整備」と「再編整備」が可能です。その施工方法は「直営施工」か「請負施工」の2パターンがあります。なお、侵入防止柵を整備する場合は、捕獲機材（わな）等を一体的に設置することや生息環境管理の実施、適切な維持管理等が要件となります。

－新規整備の上限単価－

(2) 補助率

- 直営施工の場合
定額（資材費のみ支援対象）
- 請負施工
事業総額の1 / 2以内等

	電気柵 (1段あたり)	ネット柵	高耐摩耗性 樹脂ネット柵	金網柵 上段：イソ用 下段：シカ用	ワイヤーメッシュ柵 上段：イソ用 下段：シカ用	グレーチング
直営	148円/m	1,090円/m	3,737円/m	1,970円/m 2,790円/m	1,290円/m 1,950円/m	17.7万円/m ²
請負	391円/m	2,600円/m	9,340円/m	5,380円/m 7,620円/m	3,000円/m 4,530円/m	事業総額の 1 / 2以内

【侵入防止柵の例】

①電気柵



②ワイヤーメッシュ柵



【広域的な整備】

①集落を囲う柵



②山際に沿った柵



【生息環境管理の実施】

柵周辺の雑草の刈り払い

